

# なるほど！ 世界大恐竜展

「史上最大の恐竜は？」と聞けば図鑑を枕に寝ているような子どもたちから次々と恐竜の名前があがる。

いずれも「竜脚類」とよばれる首と尾の長い四足歩行の植物食恐竜だ。それらの中でもとりわけ「長い」のが今回の恐竜展に出展されているディプロドクスである。全長27メートル。その前に立つと圧倒されるほど大きく、長い。展示室に入れるのに相当苦労したというだけあって、大きなシティミュニアムの4階を端から端まで占めている。

さて、このすごい恐竜を2倍楽しむ方法がある。それはこの展示をもとに、部分骨格しか出ていない最大級のディプロドクスの仲間を想像することである。

長い体を2割ほど大きくして全長33メートルにしよう。首と尾はドーンと壁を突き抜け、背中ではメリメリと天井を突き破るだろう。すごい恐竜。これがかつて「歩くと地震のように地面が揺れる」ということでセイスモサウルス（地震竜）とよばれ、その後ディプロドクスの一種だとわかった恐竜である。さらにもっと大きく、50メートルを超すディプロドクス類がいたという説もある。

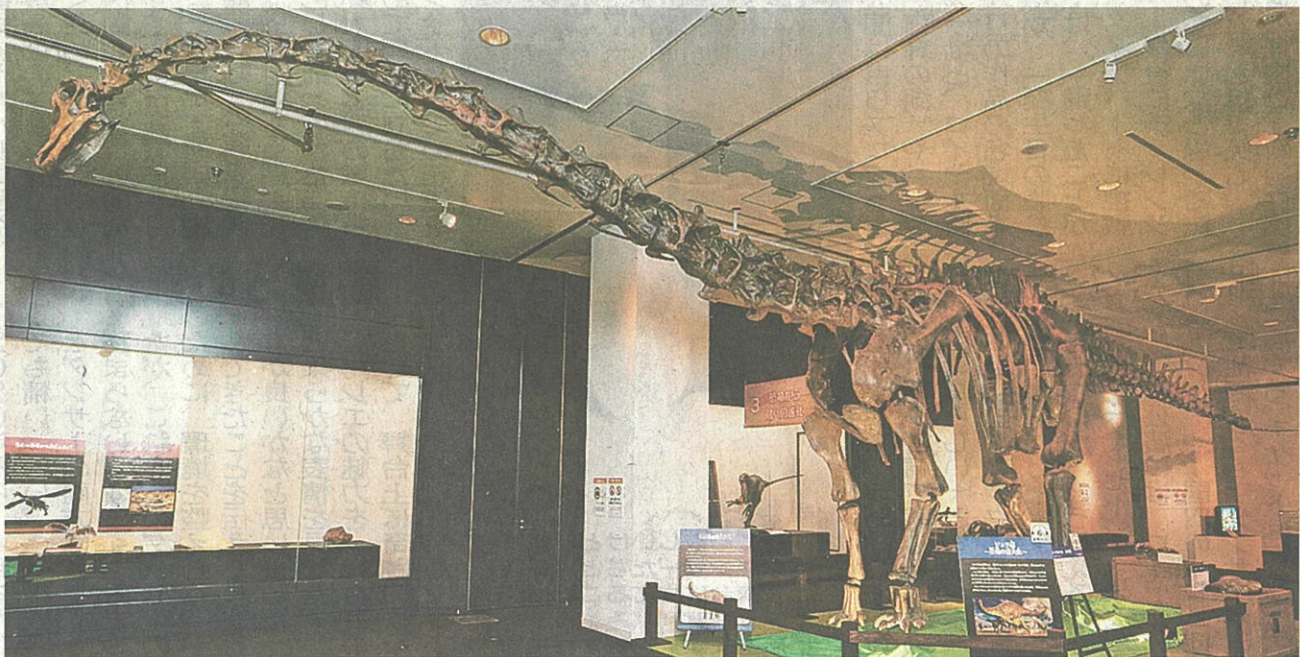
さて、そんな動物。毎日どれだけの餌を食べただろう。食べ方は？ ウンチは？ 足音は？ 求愛は？ 卵は？ 赤ちゃんは？ あれ、10倍楽しんでますね。

（石垣忍・岡山理科大教授）

＝ 随時掲載

## ③ ディプロドクスを2倍楽しむ方法

# 最大級の仲間 想像しよう



展示室を突き破りそんな巨体のディプロドクス。長い尾はむちのように振り、身を守ったと考えられている。

「よみがえる地球の覇者！ 世界大恐竜展」（山陽新聞社など主催）は9月1日まで岡山市北区駅元町、岡山シティミュニアムで開催。7月29日、8月5、19日休館。